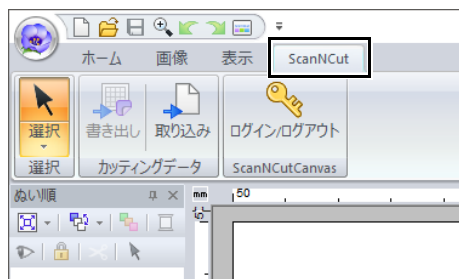


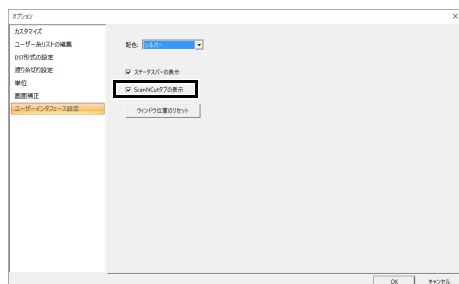
ScanNCut（ブラザーカuttingマシン）との連携

【ScanNCut】タブについて

レイアウトセンターに【ScanNCut】タブが追加されました。ScanNCut（ブラザーカuttingマシン）との連携機能はここからスタートできます。

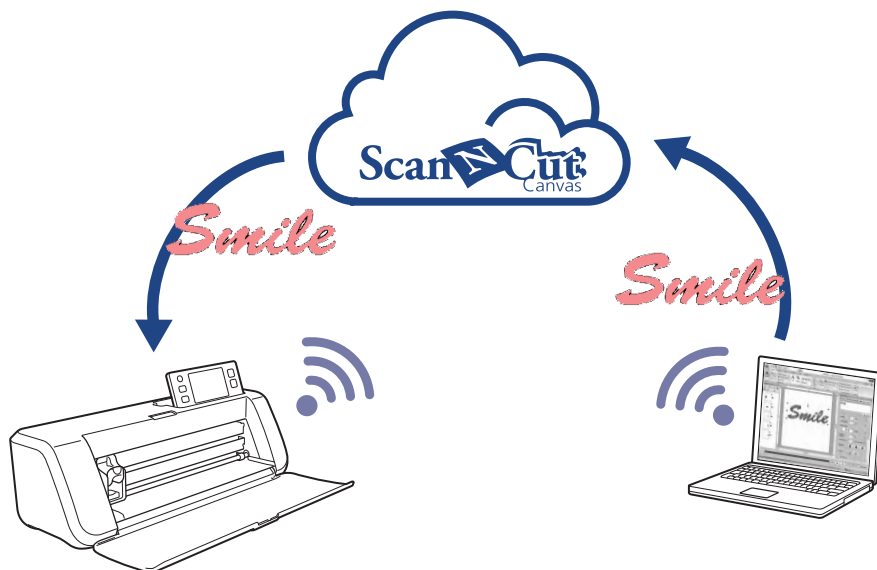


【ScanNCut】タブが不要な場合は、画面右上の【オプション】から【オプション】メニューを押し、【ユーザーインターフェース設定】を選択して、【ScanNCut タブの表示】のチェックを外してください。



作ってみましょう： ScanNCutCanvas へ .fcm ファイルを送る

刺しゅうファイルを ScanNCutCanvas（ブラウザのCutティングマシン用オンラインサービス）に転送することができます。さらに ScanNCutCanvas から、無線 LAN 搭載モデルの ScanNCut（ブラウザCutティングマシン）にオンラインでファイルを転送できます。



- ScanNCutCanvas は、ブラウザCutティングマシン専用の模様編集アプリケーションです。以下のリンクより、無料の会員登録ができます。
<https://scanncutcanvas.brother.com>



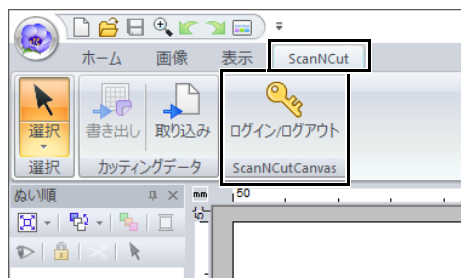
- 刺しゅうされた布地をCutティングマシンでCutしないください。
- 推奨される布地の厚さを超えた場合、CutティングマシンでCutできない場合があります。
- 詳しくは、ScanNCut（ブラウザCutティングマシン）の取扱説明書を参照してください。
- 模様に **[名前差替え]** 属性を持つ文字データを含んでいる場合は、この機能を使用できません。

ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）¥刺しゅう PRO 10¥作ってみましょう ¥作ってみましょう SNC_1 にあります。

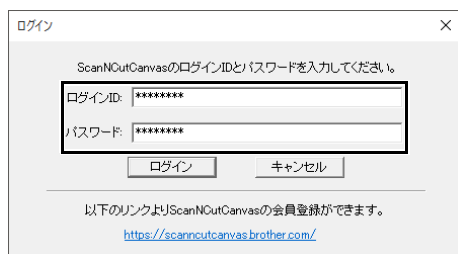
| | |
|--------|------------------------|
| ステップ 1 | ScanNCutCanvas にログインする |
| ステップ 2 | 模様を選ぶ |
| ステップ 3 | 模様を ScanNCutCanvas に送る |

ステップ 1 ScanNCutCanvas にログインする

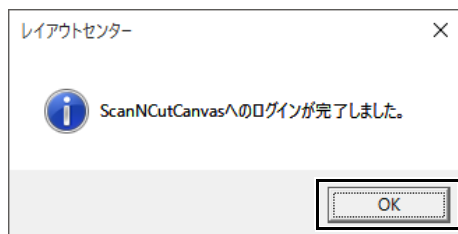
- 1 [ScanNCut] タブをクリックし、[ScanNCutCanvas] グループの [ログイン / ログアウト] をクリックします。



- 2 [ログイン] ウィンドウで ScanNCutCanvas のログイン ID とパスワードを入力します。

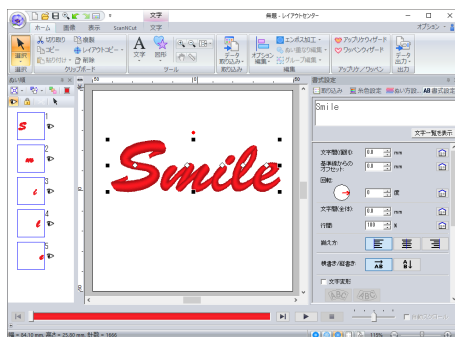


- 3 ログインが完了すると、次のメッセージボックスが表示されます。[OK] をクリックします。



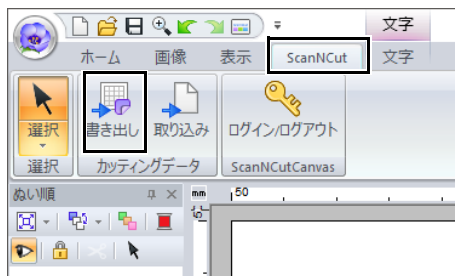
ステップ 2 模様を選ぶ

- 1 [文字] ツールを選択し、「Smile」と入力します。



ステップ 3 模様を ScanNCutCanvas に送る

- 1 [ScanNCut] タブをクリックし、[カッティングデータ] グループの [書き出し] をクリックします。



2 カットラインの属性を設定します。



1 オフセットライン間隔

模様のアウトラインからカットラインまでの間隔を **【オフセット間隔】** で設定できます。

この例では、**【0.0】** mm に設定します。

- **【オフセット間隔】** を 0.0mm に設定すると、模様のアウトラインがカットラインとなります。



- **【オフセット間隔】** を 0.0mm 以上に設定している場合、カットラインが重なったところは連結されます。



- ### 2
- チェックすると模様の外側にだけカットラインを引き、チェックを外すと模様の内側にもカットラインを引きます。この例では、チェックを外します。

チェックあり チェックなし



3 FCM ファイル保存

このボタンを押すと **【FCM ファイル保存】** ダイアログボックスが表示され、ファイルの保存先を設定できます。

4 ScanNCutCanvas へ出力

このボタンを押すと ScanNCutCanvas に .fcm ファイルを転送することができます。

5 カット模様の大きさ

カット模様の大きさが表示されます。

6 下絵表示

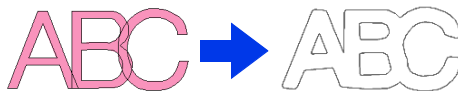
チェックするとカット模様の元画像が薄く表示されます。

7 閉じる

ダイアログボックスを閉じます。



- 模様が重なったところは結合されます。



ただし、**【オフセット間隔】** が 0.0 mm に設定されている場合は、模様が重なっても結合されない場合があります。

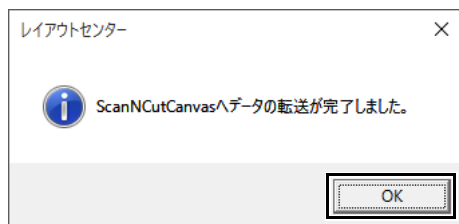
- あまりに小さすぎる模様は、出力できません。
- カット模様は、12" × 12" (305 mm × 305 mm) マットに収まる大きさと作成してください。それより大きなカット模様を出力すると、エラー画面が表示されます。
- ひとつの模様に 300 以上のカット模様が含まれている場合、.fcm ファイルを保存することができません。それより多くのカット模様を含んだ模様を保存すると、エラー画面が表示されます。

3 **【ScanNCutCanvas へ出力】** ボタンをクリック。

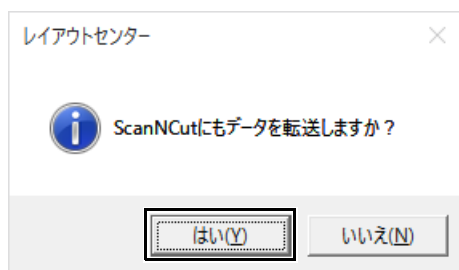


- **ステップ 1** で ScanNCutCanvas にログインせずに **【ScanNCutCanvas へ出力】** ボタンをクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し、ログインしてください。

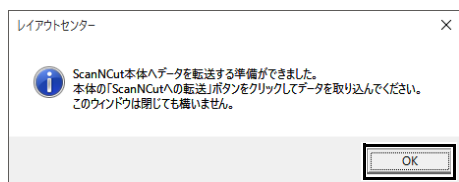
- 4 転送が完了すると、次のメッセージボックスが表示されます。**[OK]** をクリックします。



- 以下の機能は、無線 LAN 搭載モデル ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）のみが対象となります。
- ScanNCutCanvas のアカウントに、お持ちの ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）を設定している場合、続けて次のメッセージボックスが表示されます。



- お持ちの ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）にも模様を転送したい場合、**[はい]** を選択すると、以下のメッセージボックスが表示されるので **[OK]** をクリックします。

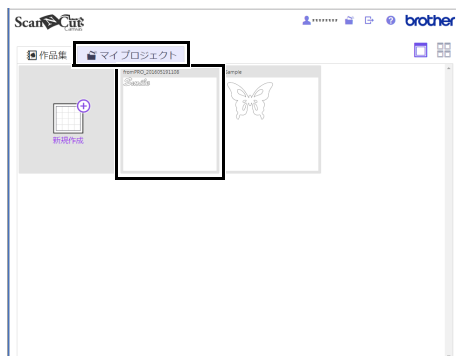


その後、ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）本体の転送ボタンをクリックすると転送された模様を取り込まれます。

- ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）に模様を転送しない場合は、**[いいえ]** をクリックします。

- 5 転送された模様はScanNCutCanvasのマイプロジェクトに表示されます。

- 模様は自動で "fromPRO_yyyymmddhhmm" のプロジェクト名で保存されます。

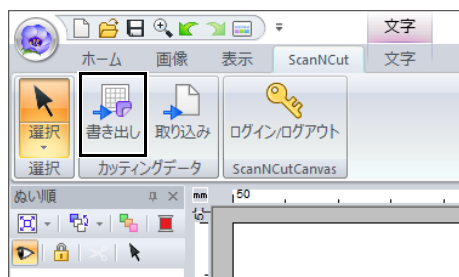


.fcm ファイルを保存する／取り込む

作成した刺しゅう模様を .fcm ファイルとして保存して ScanNCut (ブラザー・カッティングマシン) でカットしたり、.fcm ファイルを取り込んで刺しゅう PRO で編集することができます。

.fcm ファイルを書き出す

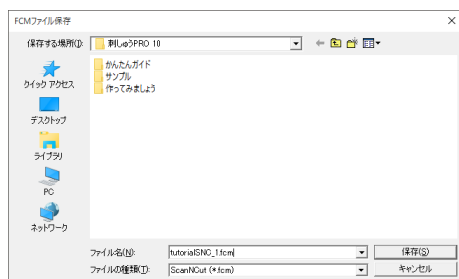
- 1 模様を選んで、[ScanNCut] タブをクリックします。
- 2 [カッティングデータ] グループの [書き出し] タブをクリックします。



- 3 カットラインの属性を設定したあと、[FCM ファイル保存] ボタンをクリックします。



- 4 保存先を選択して、ファイル名を入力します。

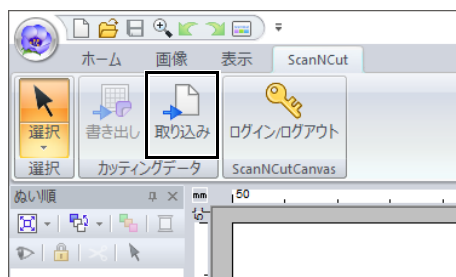



- 5 [保存] をクリックしてデータを保存します。

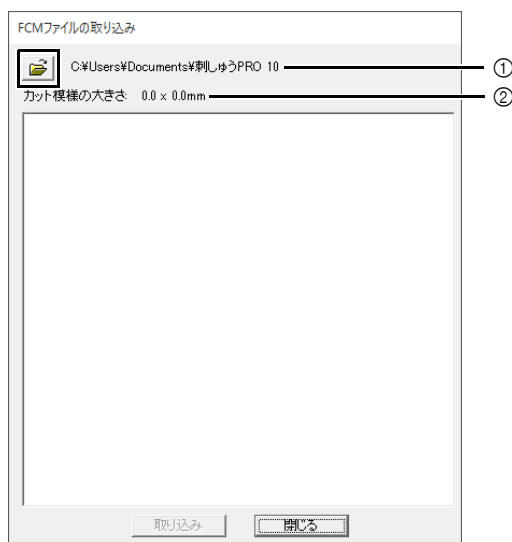
.fcm ファイルを取り込む

.fcm ファイルを刺しゅうデータとして刺しゅう PRO に取り込むことができます。

- 1 [ScanNCut] タブをクリックします。
- 2 [カッティングデータ] グループの [取り込み] タブをクリックします。

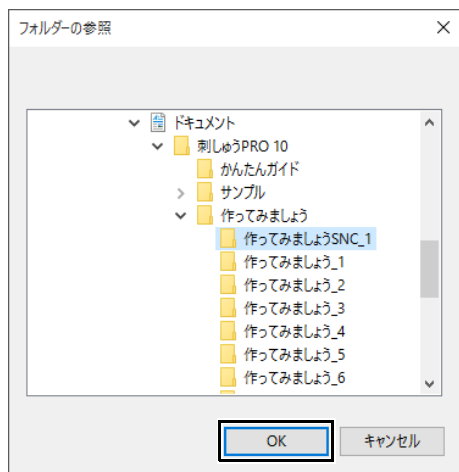


- 3  をクリックします。

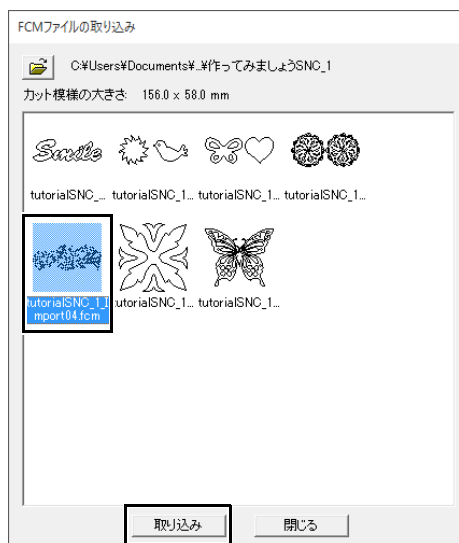


- ① 現在選択されているフォルダーのパスが表示されます。
- ② カット模様の大きさが表示されます。

- 4 フォルダーを選択して、**[OK]** をクリックします。



- 5 サムネイルを選択して、**[取り込み]** をクリックします。



- 6 読み込んだ模様デザインが表示されます。

